

2024年11月

群馬大学工業会東海連合支部長崎旅行(番外編)
(西九州支部との交流を求めて)

1. 日時: 2024年11月10日(日)~12日(火)
2. 場所: 長崎市(グラバー園、大浦天主堂、新地中華街)、佐世保市(ハウステンボス)
3. 参加者: 木村一哉(58L)、木村香代子(57W)、阿部桂三(修46S)、阿部雅信(修47C)、松永恒男(47C)、清水堪蔵(49C)、野口太郎(修H23C-西九州支部)、奥山幸生(52E)(記)(敬称略)

はじめに

今回の旅行の目的は観光旅行を楽しむことであつたが、今回地元の野口西九州支部長と懇親を深めることができ、非常に有意義なものとする事ができた。



野口支部長(前列左)を囲んで

西九州支部長と会食・観光

1日目は長崎駅に到着後、雨模様であつたが路面電車にてグラバー園、大浦天主堂、出島、中華街を訪れ、修学旅行以来の会員もおり、かすかな記憶たどりながらの観光を楽しむ事ができた。

夕刻にホテルへ向かい、懇親会場にて野口氏と合流し、各支部の現状報告や将来について議論を交わし大いに盛り上がった。

同氏は東海連合支部開催の若手の会(オンライン)に参加経験があり今回に至つたわけであるが、距離を超えた情報交換が今後の円滑な支部活動に不可欠との意見で一致した。

2日目はハウステンボスに電車で移動し、オランダ・アムステルダム街の街並みを楽しんだ。

オランダの宮殿「パレスハウステンボス」を忠実に再現する許可をオランダから得たところから命名されたとのことであるが、園内の建物には舞台裏がない造りで忠実に街が現されているとのこと。

最後に、参加された木村夫妻はハウステンボスに精通され、きめの細かいアテンドに時間を割いていただきましたことに一同感謝申し上げます。



以上